



厚真中央小だより

Atsuma-chuo elementary school

厚真町立厚真中央小学校
「学校だより」
Vol-10 [12月号]
2022年11月30日発行



学びを自分の力に

厚真町立厚真中央小学校
校長

11月11日(金)に、厚真町教育研究所「小中一貫教育研究大会」を行いました。厚真町の小中学校4校から2学級ずつが中央小学校に集まり、小中一貫教育の成果を発表する機会としました。本校からは4年生が算数の授業、5年生がふるさと教育の授業を公開しました。コロナ禍ですので、参観日同様に人数制限や感染症対策をした上での実施でしたが、いつもとは雰囲気が違う中、4、5年生の子供たちはしっかりと学習する姿が見られました。参観した方々からは、「子供たちが意欲的に学んでいる様子が見られたこと」「学習の中でタブレットを当たり前子供たちが使えるようになってきていること」などを褒めていただき、うれしく思いました。



11月17日(木)には、全学年で耳鼻科検診を行いました。お子さんの結果については学校からの文書で確認していただきたいのですが、検診を行った医師の方から「子供たちの挨拶がとってもいいですね。」との話がありました。検診が始まる前に自分の名前をきちんと伝えること、終わった後で「ありがとうございました」をきちんと言うことができているようです。



挨拶については、年度初めから子供たちに話をしてきました。相手の顔を見て気持ちの良い挨拶ができることは、人と人とのつながりの大切な一つだと思っていますので、学校全体で取り組んできたところです。私もできるだけ毎日、朝登校してくる子供たちに挨拶するようにしていますが、顔を見たら「おはようございます！」と元気に挨拶してくれる子や会釈をしながら挨拶する子、笑顔で挨拶する子など、気持ちのよい挨拶が広がってきていると感じています。

児童会においてもプロジェクト委員会が「あいさつ・なかよしプロジェクト」とし、縦割り班での話合いやポスター作り、放送による呼びかけなどを行ってきました。ポスターには「あいさつをするとえがおになるんだなあ」「笑顔で挨拶」「あいさつしてみない」などの言葉が書かれており、児童総会で話し合った「明るい笑顔あふれる学校」に向けて取り組んでいます。

児童会のポスターの中の言葉に「しぜんにあいさつ」というものがありました。この言葉いいなと感じました。「挨拶を交わして気持ちのよい一日を互いに送れるように」とともに、「挨拶が礼儀の基本として自然にできることが当たり前となるように」が大切だと思っています。「やるべきものだから」ではなく、「知っている人に対してできる」でもなく、必要な場面において意識せずとも当たり前でできようになることを目指したいものです。先の話ではありますが、高校入試の面接においてや社会人になっても必要な場面がでてきます。そうした時には、「意識してやっていること」と「自然と出てくるもの」の違いが見えてしまうものです。



今回の耳鼻科検診のような場面は普段とは少し違う場面なので、子供たちが身に付けたものを発揮できる機会となります。少し緊張する環境の中で、知らない方にしっかりと挨拶ができたことは、自分のものとして身に付いてきた子が多くなってきたのではないかと思います。教育研究大会の姿も同様です。普段とは異なる場面でも力を発揮できたことは、本当の力を身に付けてきた表れではないでしょうか。

学校での様々な経験や学びが、子供たち一人一人を成長させることにつながり、子供たち自身の力となっていくように、これからも取り組んでいきます。



引き続きご注意ください



12月を迎え、これから一層寒さが厳しくなってくる時期です。新型コロナウイルス感染症の発生から3度目の冬を迎えますが、今後の動勢がつかみづらいところです。小学校では引き続き手洗い・うがいの励行及びマスクの着用、健康観察、消毒作業、教室の適切な換気等を進めていきます。ご家庭でも声かけをお願いします。

北海道の警戒ステージは「2」相当で、「感染リスクが高まる場面や行動の回避を要請する」状況とされていますが、胆振管内や道内の各都市でも感染者の増加が報道されています。感染拡大地域への不要不急の外出を控えるとともに、子ども



達の外出や生活習慣、体調管理にも気を配っていただきますようお願いいたします。発熱の症状があったり、風邪症状が続く場合は、医療機関にご相談ください。

明日から12月(師走)。あと3週ほどで冬休みを迎えます。12月は、全国的に他の月と比べて交通事故が多い傾向にあります。あわせて北海道では、積雪や道路が凍結するなど、冬ならではの交通事故のリスクも心配ですね。登下校や習い事、遊びに行くときなども、いつも以上に注意してほしいと思います。



交通安全白書によると、交通事故の発生件数や交通事故による死者数は日没が早まる10月から増え、12月が年間を通じてもっとも多くなっています。12月に交通事故が多いのは、年末に向けて車や人の移動が増えるからだと言われています。1年の終わり、子どもは学期末を迎え、大人も仕事納めや年末年始の準備などで何かとバタバタする時期です。忙しかったり、急いでいたりして心のゆとりがないときには、周りの状況が見えにくくなるもの。子どもには少し早めの行動をうながして、交通事故に巻き込まれないよう落ち着いて行動をさせたいですね。

これから年末にかけて、日没はもっと早くなります。冬至のころは一年で最も日が短くなり、冬の寒さもここから本番を迎えます。ここから2月の節分の頃までは午後4時前後には日没です。暗くなってから家路を急ぐのは心配です。暗くなると、すれ違う人の顔がよく見えなかったり、電柱や車の陰などに誰かが潜んでいても気付かなかつたりすることがあります。危険が近づいても、その気配がわかりにくいのです。日が短い間は帰宅時間を30分早める、子どもがいる場所まで保護者が迎えに行くなど、今のうちから「わが家のルール」を冬仕様にするほうが安心です。大げさに感じるかもしれませんが、子どもの安全を守るためには、子ども自身に危機意識を持たせることがとても大切です。暗くなってからの帰宅を、子どもが「これぐらい大丈夫」と思ってしまうことがないようにしなくてはなりません。「だいたい〇時」ではなく「絶対に〇時までに帰る！」という厳しい約束ごととして決めましょう。



習い事や学童などいろいろ予定があると思いますので、生活パターンや行き先に応じて、お子さんが安全に帰宅するための具体的な方法を話し合ってみてください。

11月17日、北海道新聞社より新しい車椅子を寄贈いただきました。保健室に常設して、いざというときにすぐに使用できるようにしたいと思います。寄贈に尽力いただいた各方面の方々に感謝申し上げます。



12月~1月の行事予定

			下校バス		
日	曜	行事	日課	14:30	15:20
5	月	保護者面談(6) 諸費口座振替日	⑤	14:00 (全学年)	×
6	火	5年ふるさと学習	6	1・2年	3~6年
7	水		6	14:00 (1年)	14:50 (2~6年)
8	木	読み聞かせ(1・2年) スマイルフェスティバル	5	全学年	×
9	金	スマイルフェスティバル	6	1~3年	4~6年
10	土				
11	日				
12	月	スクールカウンセラー	5	全学年	×
13	火		6	1・2年	3~6年
14	水		6	14:00 (1年)	14:50 (2~6年)
15	木	読み聞かせ(5・6年)	5	全学年	×
16	金		6	1~3年	4~6年
17	土				
18	日				
19	月	英検ESG(6年)	5	全学年	×
20	火		6	1・2年	3~6年
21	水		6	14:00 (1年)	14:50 (2~6年)
22	木	「冬至」	5	全学年	×
23	金	2学期終業式 5時間特別日課	⑤	14:00 (全学年)	×
24	土				
2023(令和5)年 1月					
16	月				
17	火	3学期始業式 5時間特別日課	⑤	14:00 (全学年)	×
18	水	厚真町教育研究所 5時間特別日課	⑤	14:00 (全学年)	×
19	木		5	全学年	×
20	金	「大寒」	6	1~3年	4~6年
21	土				
22	日				
23	月		5	全学年	×
24	火		6	1・2年	3~6年
25	水	標準学力検査(1)	6	14:00 (1年)	14:50 (2~6年)
26	木	標準学力検査(2)	5	全学年	×
27	金		6	1~3年	4~6年